

公益財団法人日本体育協会

【国体関係標章】

デザインガイドライン



はじめに

本会所有の標章は、各標章の使用に関する規程に基づき使用することができます。ただし、その使用にあたっては、本会が指定する条件等に基づき正しく使用することが義務づけられています。特にマーク(図形)については、誤った使い方にならないよう注意が必要です。

本ガイドラインは、デザイン要素の統一化により、より効果的なイメージ形成を促進するために作られたものです。

公益財団法人日本体育協会 【国民体育大会関係標章】 デザインガイドライン

【マークの由来】

昭和22(1947)年6月18日の大日本体育会理事会で決定、同年の第2回大会から採用。

宣伝人協会(当時代表片柳忠雄氏)デザイン。

ベーシックタイプ

カラー



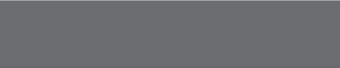
カラー規定

		
プロセスカラー	Y100+M100	M80+C90
DICカラー	DIC 2498	DIC 256
RGBカラー	R216+G12+B24	R29+G32+B136

モノクロ



カラー規定

		
プロセスカラー	K100	K70
DICカラー	DIC 582	
RGBカラー	R0+G0+B0	R114+G114+B114

サイズ規定

- A1(594×841mm)以上のサイズのもの



直径60mm以上のサイズで表示すること

- B2(515×728mm)以上、
A1(594×841mm)未満のサイズのもの



直径45mm以上のサイズで表示すること

- A3(297×420mm)以上、
B2(515×728mm)未満のサイズのもの



直径15mm以上のサイズで
表示すること

- A3(297×420mm)未満のサイズのもの



直径10mm以上のサイズで
表示すること

上記については、製作物の内容により、日本体育協会と調整の上、変更することができる。



陸上競技



ホッケー



ボクシング



自転車



テニス・ソフトテニス



軟式野球



剣道



ラグビーフットボール



山岳



水泳



セーリング



カヌー



ソフトボール



バドミントン



バレーボール



ボート



ボウリング



バスケットボール



レスリング



ウエイトリフティング



相撲



馬術



ライフル射撃



空手道



カラー規定

プロセスカラー	K100
DICカラー	DIC 582
RGBカラー	R0+G0+B0

※単色であれば他の色も使用可能ですが、その際は必ず事前に日本体育協会にご相談ください。



銃剣道



クレー射撃



アーチェリー



なぎなた



卓球



体操



サッカー



ハンドボール



フェンシング



柔道



弓道



ゴルフ



高校野球(公開競技)



スケート



アイスホッケー



スキー



バイアスロン



スポーツ芸術



トライアスロン



カラー規定

プロセスカラー	K100
DICカラー	DIC 582
RGBカラー	R0+G0+B0

※単色であれば他の色も使用可能ですが、
その際は必ず事前に日本体育協会にご相談ください。

注意・禁止事項

- 基本的にデータをそのまま(拡大・縮小のみで)使用してください。
- 色は指定色で使用してください。
- 変形・回転・加工・部品を分解しての使用、縦横比率の変更、可視性の低い背景色の使用を禁止します。

変形させない



縦横比率を変えない



回転しない



分解しない

デザインの変更



指定色以外を使わない



グラデーションを使わない



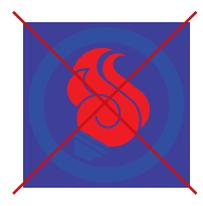
他の要素を加えない



縁取りをしない



別の形と一緒にしない



可視性の低い背景色を使わない



円の内側は白でなければならない

文字としての使用



文中に使用しない